



## 読書とその周辺

文学部教授 五十嵐三郎

年をとると雑用に追われる。かえってそんな忙しい時間のあるとき、ふと中学の国語教科書に出てきた文学作品や、高等学校時代の授業をサボって図書館に入り、読書したものなどが懐しく思い出されたりする。

中学時代に一昭和の2年頃、はじめて全集なるものが改造社から出版され、ミカン色の表紙の現代日本文学全集というのがあった。教科書に出てくる教材で、漱石、藤村、芥川などの名を知って、全集に収められている彼等のものを読み、中学5年、島村抱月の自然主義に関する評論で全集の読書は終わった。

高等学校では欧米の文学物が中心であった。満洲事変の影響もあって、思想面では日本哲学者のものが盛んに読まれた。そのあるとき、西田幾多郎が純粹理性批判を高校教師時代に読んだということを知り、彼のなにかの書で知って、図書館で借り出してみたことがある。ところどころに鉛筆で印があったが、原文はさっぱりわからないながらも、先輩の読書の跡をたどったような喜びを感じた。

大学時代に、岩波から漱石全集が出た。その随想の中で橋本左五郎の名を見覚えていたが寮生(在京の北海道学生寮)の橋本という者に橋本左五郎の名で葉書がきたことがあって、この橋本が漱石と同輩の本学にいた左五郎教授の孫であることを知って驚いた。今はこの同じ屋根の下にその弟さんの誠二教授と一緒に生活しているのも奇縁である。また、藤村が恋人と呼んだ人一相手が思ってくれなくとも藤村にとっては恋人であった一輔子さんは札幌の鹿討家に嫁いだが数カ月せずして不帰の客となった。ところがそのあとに来た人(津田梅子の妹)の子として生まれたのが本学に数年前までおられた鹿討豊雄教授であった。「僕の知らないことだがネ、屋根裏に反故がたくさんあって、シミに汚れているが何かあるかもしれない」ということだった。

新渡戸稲造・内村鑑三の名なども中学時代からなれ親しんだ名前である。有島武郎は、小説だけでなくその思想は展開して農場の開放にまで進んだことなどあって、北海道のようなところではその思想面はもっと深く一般人に認識されてもよかったことのように思う。大学の内部では思想としては展開せず甘い香りをただよわせて終わったのはまったく惜しいことである。

一昨年教養部から出た瓔珞に、島木健作(本名、朝倉菊雄)の葉書(大正十四年六月二十七日づけ仙台)が数枚のせられた。それは経済学部の荒又重雄助教授の父君で、本学の教授であった荒又操氏に宛てられたものであった。その中で、健作が人間的に成長し、思想的に進歩していく姿を読みとることができた。野呂栄太郎氏と出あって、影響されるところが多かったようであった。北海道というところはやはり新しい人間作りをし、これからも生み出していくのだろうと楽しみである。

青少年時代図書館はわたくしにとって静かな憩いの場であった。当時の読書が、時代とともに周辺をいろいろな意味で広げるよすがとなり、これからの人生を一層楽しくしてくれるだろう。

## ◇ 会 議

## 第53回 図書館委員会

＜と き 3 月 27 日 (土)＞

＜と ころ 附属図書館会議室＞

## 1. 第1種および第2種閲覧個室利用者の選考について

館長から次のとおり説明があり、全員異議なく了承された。

第1種閲覧個室については、収容人員6名に対し9名の申し込みがあり、法学部1名、経済学部1名、理学部1名と文学部の6名のうち文学部で協議していただいて3名の計6名に許可したい。

第2種閲覧個室については、収容人員42名に対し44名の申し込みがあり、申し込み理由のなかで論文作成時期が昭和49年となっている文学部の2名を除き許可したい。

## 2. 館長から次のとおり報告があった。

(1) 阿部教養分館長の任期がきたる3月31日で満了となることに伴い、次期教養分館長として、教養部長から五十嵐三郎教授(文学部)の推せんがあったので、上申中である。

(2) さきの委員会です承を得た本館開架図書閲覧室備え付けの教官指定図書の学部への管理換について、医学部、薬学部から申し出があり、現在、手続中である。

(3) 改革検討委員会第1～2専門委員会は、2回開催され、審議の結果、全学の教職員、学生に対してのアンケートを取ることとなり、現在、原案を作成中である。

(4) さきの委員会でも報告した人文系4学部図書室の統合問題については、現在、法学部と事務レベルによる話し合い中である。

(5) 札幌農学校第1期生である大島正健氏の孫大島智夫氏から、大島正健代関係の貴重な資料の寄贈を受けることになっており、また、札幌農科大学第1期生である逢坂信彦氏からも同氏の蔵書約1,500冊の寄贈を受けた。

(6) さる3月8日から20日まで金木整理課長摸写による古地図展を開催した。なお、同氏はきたる3月31日で退職の予定である。

## 3. 阿部教養分館長から退任のあいさつがあった。

## 第14回 教養分館委員会

＜と き 2 月 3 日 (水)＞

＜と ころ 教 養 分 館 室＞

## 1. 分館長、大畑委員から分館委員の推せんについて説明があり、現在の内規により運営していく旨、了承された。

## 第3回 図書館事務改善委員会

＜と き 2 月 26 日 (金)＞

＜と ころ 附属図書館会議室＞

## 1. 図書館事務改善に関する調査事項の検討と現状の分析について。

(1) 館長から委嘱されたアンケート(案)の作成について、4月末日までに審議を完了することが了承された。

(2) アンケート(案)の作成方法として、委員を対教官、対学生、対職員の3分科会に分け、それぞれの分科会に議長を置くことが了承された。

## 2. 委員長から附属図書館部内会議におけるアンケート草稿の審議経過およびアンケート(案)作成についての館長の参考意見が説明された。

## ◇ 学内図書館だより

## &lt;附属図書館&gt;

## 逢坂信悉氏から蔵書を受贈

本館は、このたび市内在住の逢坂信悉氏のご好意で、同氏の蔵書約1,500冊を受贈しました。逢坂氏は、明治33年内村鑑三の感化を受けて札幌農学校に入学された本学の先輩で、「クラーク先生詳伝」や「クラーク博士を語る」等の著書によってクラーク博士の研究者としても有名な方です。同氏は米国で神学を専攻後、無教会主義あるいはキリスト教社会主義の立場から独自の伝道と著述活動に従事され、昭和35年には「北海道文化賞」を受賞、翌年には「北海道開拓精神史」について天皇に御前講演をされました。

今回寄贈を受けた蔵書の多くは、宗教および思想に関する和洋書で、この中には明治期の珍しい文献のほか、札幌農学校時代の佐藤昌介、宮部金吾両教授の受講ノートや書簡、逢坂氏著書の手稿なども含まれています。

これらの資料は、書庫3層に「逢坂信悉記念文庫」として別置の予定です。

## 「大島家保管札幌農学校関係資料」を受贈

4月9日本館は、札幌農学校第1期生大島正健博士のご遺族から、同家に保管されている資料の寄贈を受けました。大島博士は、クラーク博士から直接教えを受けた方で、のち札幌農学校や同志社の教授を歴任され、また甲府中学校の校長としてもすぐれた教育者の名を残されました。晩年に出版された「クラーク先生とその弟子たち」は、クラーク博士の人格と教育、および初期の札幌農学校の雰囲気を生き生きと伝えた名著として有名であり、かの「青年よ大志を抱け」という言葉も大島正健氏によって全国に広められたものです。

受贈した資料の中には、大島博士が農学校入学に際して交付を受けた「官費生徒申付辞令」から農学校退職に至るまでの各種の辞令、書簡、草稿、印刷物があり、また明治5~6年函館から札幌までの道路開きを指導した大島博士の義父平野弥十郎の日記10冊も含まれています。これらの資料は一括して、「北海道大学沿革資料室」に保在の予定です。

## 金木藤雄氏模写「北海道古地図展示会」を開催

本館の北海道古地図(約300点)は、質量ともにすぐれたコレクションですが、この中には本館の職員が模写した地図が多数含まれています。これは個人や他の機関が所蔵する地図を借用して、原図の通りに模写したものです。

この三月退職された整理課長金木藤雄氏は、この古地図模写にもっとも貢献された方で、昭和初年および最近数年間の2時期にわたり、多忙な職務の余暇を利用して作成された模写地図は55点に及んでいます。

本館では金木氏の長年のご苦勞を回顧して、3月8~20日同氏の模写された北海道古地図の展示会を開催しました。模写地図の見事な出来ばえのため、展示会はなかなかの盛況で、学内外から多数の参観者が来館しました。

## 「北海道大学沿革資料室」を開設

本館では昭和41年の創基90周年の展示会以来、本学の沿革関係資料の収集、整理に努めてきましたが、今後はこれらの資料をいつでも容易に利用者の閲覧に供することができるよう

この3月本館5階に「北海道大学沿革資料室」を開室しました。

この室には、札幌農学校以来の記念的な資料を展示するほか、各種の出版物、文書、写真、学生団体機関誌等が保存されています。また、農学校時代の公文録約500冊や、昭和42年以降の本学の全出版物各1部がおかれています。利用の際は北方資料室の掛負にお申し出下さい。

### 文献の調査・利用について獣医学部院生と懇談会

文献情報の増大に伴い、文献調査技術と必要文献の入手法についての知識はますます切実なものとなっており、研究者に対する大学図書館のサービスにも質的な転換が求められています。しかしながら、文献調査は未だほとんど研究者自身の努力に委ねられており、研究者も自分の長年の経験によって漸く文献調査に習熟するのが現状です。近年は索引・抄録等の出版が著しく、さらにコンピューターによる情報処理検索さえ実用化され始めていることを考えれば、文献調査はすでに個々の研究者の手に余るものとなっています。

このような観点から、本館は獣医学部の申し出を受け、大学院生に対する文献調査法および文献入手法のオリエンテーションを、2月26日参考掛との懇談会という形で実現しました。参考掛では、一般的な文献調査についての資料を紹介したほか、文献入手についての図書館のサービスを説明し、一方院生側からは文献複写依頼、相互貸借、外国学位論文の入手法などについて質疑があり、有意義のうちに懇談会を終了しました。

### 資料紹介

#### 北海道大学附属図書館(本館) 収書通報 No. 7 (1968, 10~1969, 6)

B5版 419頁 オフセット印刷 1971年3月刊行

学内紛争によって印刷がのびのびになっていた「収書通報」No. 7が出来上りました。今回は本館封鎖以前の資料を収録しています。引き続き No. 8(今年2月まで)を来月刊行の予定です。

#### 『低温科学研究所所蔵 逐次刊行物目録 欧文篇』(1971年)の刊行

B5版 39頁 オフセット印刷 編集・発行 低温科学研究所 昭和46年3月刊 400部印刷

この目録は、昭和45年12月末現在、低温科学研究所所蔵の欧文の雑誌、年報およびレポート類等の逐次刊行物の約450種を収録したものである。また、この刊行は、現在、附属図書館で企画準備中の『北海道大学所蔵学術雑誌総合目録』(欧文篇)の当研究所提出分をまとめたものでもある。

排列は、誌名順で、ローマ字のものとキリル文字(ロシア文字)のものに大別している。

所蔵されているものの中には、購入のものから諸外国との寄贈・交換によるものまで、物理学・生理学のいわゆる基本的な雑誌から、雪氷学や低温生物学の特殊な分野のレポート類にまで及んでいる。また、国内では当研究所だけの所蔵のものも、数多くある。

この目録の刊行により、学内はもちろん道内の研究者等の一層の利用が期待される。(低温科学研究所)

◇ 統 計 ◇

部 局 別 蔵 書 冊 数

(昭和46年3月31日現在)

部 局	和 書	洋 書	合 計	備 考	部 局	和 書	洋 書	合 計	備 考
文 学 部	93,528	71,829	165,357	附属病院含む " 附属農場・附属演習林含む	低温科学研究所	3,649	6,433	10,082	
教育学部	17,205	11,581	28,786		应用電気研究所	2,104	4,214	6,318	
法学部	32,038	64,225	96,263		触媒研究所	965	3,333	4,298	
経済学部	43,369	24,374	67,743		結核研究所	794	2,220	3,014	
理学部	29,065	74,443	103,508		事務局	434		437	
医学部	36,315	47,428	83,743		学 生 部	126	48	174	
歯学部	1,858	906	2,764		大型計算機センター	25	20	45	
薬学部	1,701	4,338	6,039		附属図書館	195,071	78,711	273,782	
工学部	88,567	79,250	167,817		教養分館	22,131	9,682	31,813	
農学部	104,819	74,857	179,676		合 計	720,141	592,260	1,312,401	
獣医学部	5,296	10,278	15,574						
水産学部	41,081	24,090	65,171						

昭和45年度 部局別図書、雑誌受入冊数

(昭和46年3月31日現在)

区 分 部 局	和 書					洋 書					備 考
	購入 (単)	購入 (雑)	寄贈 (単)	寄贈 (雑)	小 計	購入 (単)	購入 (雑)	寄贈 (単)	寄贈 (雑)	小 計	
文 学 部	3,550	22	186	114	3,872	3,660	257	432		4,349	附属病院を含む " 附属農場・附属演習林を含む
教育学部	936	58	42	44	1,080	608	178	15		801	
法学部	592	220	159	384	1,355	1,276	1,810	443	103	3,632	
経済学部	1,742	399	544	1,384	4,069	1,148	193	202	4	1,547	
理学部	1,159	47	347	44	1,597	2,417	1,400	190	358	4,365	
医学部	1,006	316	51	37	1,410	902	425	77	139	1,543	
歯学部	474				474	140	36	2		178	
薬学部	168	84	18	10	280	150	346	11	102	609	
工学部	4,772	534	124	362	5,792	1,719	1,671	71	122	3,583	
農学部	4,128	426	139	376	5,069	948	689	68	268	1,973	
獣医学部	136	33	29	60	258	249	151	20	65	485	
水産学部	1,687	509	644	263	3,103	426	387	343	323	1,479	
低温科学研究所	79	22			101	179	182		5	366	
应用電気研究所	132		3		135	183	256	19	79	537	
触媒研究所	29		18		47	77		2		79	
結核研究所	55				55	64	84			148	
事務局											
学 生 部											
大型計算機センター	25				25	14	6			20	
附属図書館	5,708	385	870	926	7,889	581	94	1,793	439	2,907	
教養分館	3,530	516	336	127	4,509	411	161	78	3	653	
合 計	29,908	3,571	3,510	4,131	41,120	15,152	8,326	3,766	2,010	29,254	

## 昭和 45 年度 附属図書館利用統計

閲覧室名	開架図書 閲覧室	一般閲覧室 <sup>1)</sup>		語学演習室	参考図書 閲覧室	北方資料室	合 計
		館内閲覧	館外貸出				
開室日数	269	282	282	269	288	287	(人)
文学部	5,729	197	732	1,077	798	245	8,778
教育学部	1,520	23	103	182	77	26	1,931
法学部	13,567	477	1,024	547	2,267	47	17,929
経済学部	5,870	111	362	352	355	50	7,100
理学部	9,184	74	192	457	210	17	10,134
医学部	1,642	30	37	289	40	43	2,081
歯学部	490	6	8	0	4	7	515
薬学部	1,106	10	17	50	18	1	1,202
工学部	4,630	55	110	604	114	61	5,574
農学部	3,590	67	122	558	88	92	4,517
獣医学部	244	4	4	63	13	3	331
水産学部	0	0	0	0	2	0	2
教養部	18,150	350	601	3,393	439	93	23,026
各研究所	0	0	0	0	3	5	8
教官 <sup>2)</sup>	20	17	1,439	0	—	—	1,476
大学院生 <sup>2)</sup>	44	33	1,698	34	—	—	1,809
職員 <sup>2)</sup>	112	35	465	58	—	—	670
学外者	958	139	106	0	330	228	2,355
利用者合計	66,856	1,628	7,020	7,664	4,758	1,512	89,438(人)
利用冊数	79,845	2,843	18,401	7,664 <sup>3)</sup>	521 <sup>4)</sup>	1,230 <sup>4)</sup>	110,504(冊)

1) 一般閲覧室の利用者数は、図書の貸し出しを受けた者の数を示す。

2) 参考図書閲覧室、北方資料室の利用者は各部局に含まれる。

3) 語学テープの貸し出しリール数。

4) 館外貸し出し冊数のみ。

(注) 昭和 44 年度の利用統計のうち、開架図書閲覧室の利用冊数 (136,945) および利用冊数合計 (156,216) は、それぞれ 37,681 および 56,952 の誤まりにつき訂正します。

## 昭和 45 年度 附属図書館オフセット印刷業務実績

区 分	館 内	部 局	合 計
件 数	275	7	282
造 版 数	1,845	145	1,990
印 刷 枚 数 (B 4)	175,270	12,684	188,954
印 刷 枚 数 (カード)	101,254	0	101,254
製 本 冊 数	6,420	60	6,480

昭和 45 年度 附属図書館マイクロ・電子複写業務実績 (館内分を除く)

区 分	学 内 (校費)			学 内 (私費)			学 外			合 設				
	件数	枚数	単価 金額	件数	枚数	単価 金額	件数	枚数	単価 金額	件数	枚数	単価 金額	金額	
基本料金	9	1850	900	10	1050	500	38	7550	3,750	57	10350	5,150		
マイクロフィルム	9	13,416	8107,328	10	1,110	88,880	38	16,962	10169,620	57	31,488	285,828		
A	5	8	2,352	20	47,040	19	5,072	20101,440	5	5,797	25144,925	32	13,221	293,405
B	5	8	4,025	30120,750	7	790	3023,700	3	92	403,680	18	4,907	148,130	
A	4	9	2,258	4090,320	7	582	4023,280	2	36	501,800	18	2,876	115,400	
B	4	1	97	605,820	1	6	60360	1	2	70140	3	105	6,320	
特撮	2	446	2892			0	1	1	22	2	3	447	894	
容器代	6	6	1060	10	11	10110	34	34	10340	50	51	10510	510	
送料	4	13	20260			0	4	42	20840	8	55	201,100		
小計	29		373,370	40		158,270	42		327,832	111		859,472		
電子複写	149	3,789	30113,670	1,020	17,553	30526,590	1,072	29,816	351,043,560	2,241		1,683,820		
送料	106		5,230	43		2,675	871		63,210	1,020		71,115		
小計	149		118,900	1,020		529,265	1,072		1,106,770	2,241		1,754,935		
合計	178		492,270	1,060		687,535	1,114		1,434,602	2,352		2,614,407		

昭和 45 年度 学外への文献複写申込件数

(附属図書館閲覧課参考掛経由)

部 局	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部	
件 数	243	53	120	90	173	11	46	19	355	
部 局	農学部	獣医学部	水産学部	低温科学 研究所	応用電気 研究所	触媒 研究所	結核 研究所	核 研究所	附 属 図 書 館	合 計
件 数	101	38	7	17	25	2	3	15	1,318	

うち国外申込件数 245 件 (アメリカ 171, イギリス 22, フランス 13, 西独 9, オーストラリア 9, オランダ 4, スウェーデン 3, その他 15)

(館外貸出統計) (所属別)

昭和 45 年度 教養分館利用統計

(開館日数 280 日)

区 分	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部
冊 数	431	33	148	106	1,016	354	12	360	783
%	1.0	0.1	0.3	0.2	2.3	0.8	0.1	0.8	1.8
人 数	207	19	69	48	554	197	8	216	429
%	0.7	0.1	0.2	0.2	2.0	0.7	0.1	0.8	1.5
区 分	農学部	獣医学部	教養部	附属施設	大学院生	教 官	職 員	学 外 者	合 計
冊 数	219	56	39,747	113	85	207	611	0	44,281
%	0.5	0.1	89.8	0.2	0.2	0.4	1.4	0.0	100
人 数	119	31	25,309	58	48	94	327	0	27,733
%	0.4	0.1	91.3	0.2	0.2	0.3	1.2	0.0	100

## (館外貸出統計)(分類別)

類 別	0	1	2	3	4	5	6	7	8
冊 数	473	3,305	242	4,814	902	13,024	1,004	750	9,087
%	1.1	7.5	0.5	10.9	2.0	29.4	2.3	1.7	20.5
類 別	9	和雑誌	洋雑誌	文庫・ 新書					合 計
冊 数	3,420	30	95	7,135					44,281
%	7.7	0.1	0.2	16.1					100

ただし、教官指定図書 1,463 冊を含む

## (館内閲覧統計)(分類別)

類 別	0	1	2	3	4	5	6	7	8
冊 数	915	1,428	143	2,119	2,483	9,519	597	581	2,877
%	3.7	5.8	0.6	8.6	10.1	38.6	2.4	2.3	11.7
類 別	9	和雑誌	洋雑誌	文庫・ 新書					合 計
冊 数	2,125	134	16	1,742					24,679
%	8.5	0.5	0.1	7.1					100

ただし、教官指定図書 1,407 冊数を含む

## (入館者数)

開架図書閲覧室	一 般 閱 覧 室	計
91,877 名	83,215 名	175,092 名

## ◇ 人事往来 ◇

## 新図書館委員

五十嵐 三郎	(教養分館長, 文学部教授)	4月1日付
田原 嗣郎	(文学部助教授)	"
堀 淳一	(理学部教授)	"
辻 田時美	(水産学部教授)	"
小島 賢治	(低温科学研究所教授)	"
徳永 正晴	(応用電気研究所助教授)	"
延与 三知夫	(触媒研究所助教授)	"
森 川和雄	(結核研究所教授)	"

## 退 職

金 木 藤 雄 (整理課長)

## 昇 任

沙 藤 隆 茂 整理課長 (九州大学庶務部庶務課課長補佐)

村 上 肇 整理課課長補佐 (工学部図書掛長)

## 配 置 換

横 山 梅 雄 経済学部事務長 (整理課課長補佐)

北海道大学附属図書館報 「楡陰」 Vol. 5 No. 2 (通巻 23 号)

1971 年 4 月 30 日 発行 発行人 齊 木 一 郎

発行所 北海道大学附属図書館 札幌市北 8 条西 5 丁目 電話代表 711-2111 (2966)

印刷所 文 栄 堂 印 刷 所 札幌市北 3 条東 7 丁目 電話代表 231-5560